

CREATING A PROSPEROUS
FUTURE TOGETHER WITH KYUSHU

九州とともに、豊かな未来へ。

中間期ミニディスクロージャー誌 兼 営業の中間ご報告

平成28年4月1日 ▶ 平成28年9月30日



Kyushu FG

九州フィナンシャルグループ



うるおいある未来のために。
肥後銀行
HigoBank



鹿児島銀行



九州フィナンシャルグループ

豊かな 未来のために。 これからも、 ともに。



Contents

ごあいさつ	2
九州フィナンシャルグループ誕生から1年	3
ふるさとを元気にするための取り組み	5
財務ハイライト（九州フィナンシャルグループ）	7
財務ハイライト（肥後銀行／鹿児島銀行）	9
株主の皆様へ	11
会社概要	13
熊本地震への取り組み	14

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、九州フィナンシャルグループは、昨年10月1日に設立し、おかげさまで2年目を迎えることができました。これもひとえに、皆様方のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

設立からの1年を振り返りますと、本年2月に導入されたマイナス金利政策や加速する地銀再編の動きに加え、地元には甚大な被害を及ぼした熊本地震の発生など、当社グループをとりまく環境に大きな変化がありました。

このようななか、当社は、第1次中期経営計画の基本方針である「お客様への最適かつ最良のサービス提供に向けた経営基盤構築」に向け、「総合金融力」、「ブランド力」、「組織運営力」の3つの経営基盤を軸に様々な施策に取り組み、着実に統合効果を創出してまいりました。

今後も肥後銀行グループと鹿児島銀行グループの知見やノウハウを活かし、農林水産業、医療介護、観光分野を中心とした地方創生の支援等とともに、グ



代表取締役会長
甲斐 隆博



代表取締役社長
上村 基宏

ループ体質の強化、企業価値の向上を図ってまいります。そして何より、地元熊本の「創造的復興に向けて」肥後銀行を中心に、グループ一体となって最大限の支援に取り組んでまいります。引き続き、倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成28年12月吉日

株式会社九州フィナンシャルグループ

グループ 経営理念

わたしたち九州フィナンシャルグループは、持続可能な成長の実現に向け、以下の3つの理念を柱として、みなさまから真に愛される総合金融グループを目指します。

1. お客様の信頼と期待に応え、最適かつ最良の総合金融サービスを提供します。
2. 地域とともに成長し、活力あふれる地域社会の実現に積極的に貢献します。
3. 豊かな創造性と自由闊達な組織風土を育み、より良い未来へ向かって挑戦し続けます。

九州フィナンシャルグループ

誕生から1年



目指す姿 → お客様にとって九州トップの総合金融グループ
協働 → **融合** 2つのステージで実現

1 協働ステージ

第1次中計（平成27年10月～平成30年3月）

- 相互理解を深め、有効性を導入し合う。
- 融合ステージにおける統合効果の最大限発揮に向け、強み（ノウハウ）を結集して、グループ総合金融力を高める。
- グループガバナンスの高度化を進め、グループ経営資源を最適に配分する仕組みを構築する。

2 融合ステージ

第2次中計以降（平成30年4月～）

- グループ全体の融合を段階的に進め、経営基盤をより強固なものにする。
- グループの連結粗利益と経費効率の両面から、統合効果を最大限に発揮し、持続的成長につなげる。

第1次中期経営計画

基本方針 → お客様への最適かつ最良のサービス提供に向けた経営基盤構築

お客様の多様なニーズに応える

総合金融力

- 金融ニーズに迅速かつ的確に応える金融事業領域・商品・サービス
- 地域の持続的成長を実現する地方創生戦略
- グループ収益を支える安定した市場運用収益

ステークホルダーに信頼される

ブランド力

- **地域・お客様**
常に選ばれ続ける高い信頼性（人間力・商品力）
- **株主**
安定的な株主還元と積極的なIR活動
- **従業員**
グループの一員であるという誇りと高いモチベーション

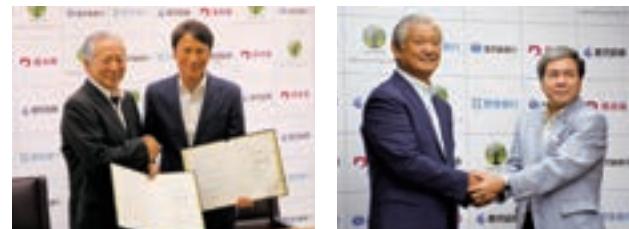
グループ全体最適を実現する

組織運営力

- 環境変化に適応したグループ経営基盤の強化
- 高度なグループ経営管理態勢の整備
- 総合金融力構築を支える経営・業務の効率化と戦略的人員配置

観光振興に関する連携協定を締結

熊本・鹿児島を中心とした南九州の観光ルート開発を進め、海外からの観光客誘致を行うことで、中長期的な地域経済の活性化を目指すため、熊本県・鹿児島県と協力・連携する「地域観光振興に関する協定」を締結しました。



地域ファンドの共同設立

地方創生の取り組みの一環として、地元企業を対象にしたファンドを共同設立し出資を行っております。平成27年10月に、事業基盤の再生、強化、拡大、成長支援等を目的に「KFG地域企業応援ファンド」を共同設立し、これまでに3件の投資を行いました。平成27年12月に共同設立した「KFGアグリファンド」は、農業法人の経営支援の強化、さらに成長支援を通じた雇用創出および地域活性化を目的としており、平成28年9月に第1号案件となる投資を行っております。また、平成28年熊本地震で被害を受けた企業の復旧・復興を支援するため、「くまもと復興応援ファンド」をはじめ3つのファンドへの共同出資を行っております。

地域IRの開催

当社グループをよりご理解いただくため、熊本、鹿児島、宮崎、福岡の4会場において、個人の株主様・お客様向けの会社説明会を開催しました。



人材交流の積極的展開

人材育成・組織運営力強化のため、合同研修や地域行事への相互参加などのほか人事異動を伴う人材交流を行っております。平成28年3月に支店長を含む管理職等30名、10月には、非管理職の営業店行員20名の交流をスタートさせました。また、熊本地震発生後の5月には、30名の鹿児島銀行の行員が、被災されたお客様訪問のため肥後銀行に派遣されました。



平成28年10月に開催した新入行員合同研修

証券子会社設立へ

地域のお客様の多様化する資産運用ニーズにワンストップでお応えするため、専門性の高い金融商品・サービスを提供することを目的として証券子会社設立を決定しました。平成30年1月の開業を目指します。

グループ内組織の一体化

情報・ネットワークやノウハウの共有を図り、多種多様かつより良質な営業情報等を地元のお客様にご提供するため、肥後銀行と鹿児島銀行の組織の実質的な一体化を図っています。平成28年1月には上海事務所、平成28年4月には福岡事務所を同一箇所に配置しました。

グループガバナンス強化に向けた本部監査機能の統合

グループ内の内部管理態勢強化および経営統合効果発揮を促進するため、平成28年4月、肥後銀行および鹿児島銀行の本部監査機能を統合しました。グループ全体の横断的監査により、内部管理態勢の適切性・有効性の検証を行い、経営効率向上を目指します。

市場系システムを統合

経営統合による相乗効果最大化に向け、事務・システムの共通化について、継続して検討を進めています。平成28年1月に、手形・小切手用紙発行事務を統合、4月には、視覚障害のあるお客様向けサービスの一環として、点字による残高・取引明細発行サービスを開始しました。また、11月に、市場系システムを統合し、稼働を開始しました。

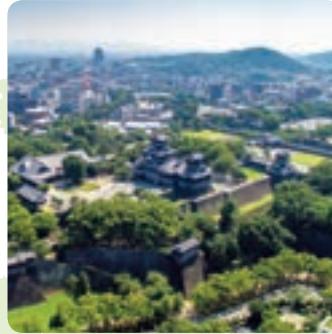




熊本地震からの 創造的復興に向けた取り組み

肥後銀行では、“ふるさと熊本”の創造的復興に向け、様々な支援策に取り組んでいます。法人・個人分野では総額300億円超の4つのファンドやマンション共用部分専用リフォームローンなど、フルラインアップの金融メニューでご対応いたします。また、地域振興分野では、震災復興支援サイト「かせするもん。」を立ち上げ、創造的復興を“かせする^(※)”情報を全国へ発信しています。

※「かせする」＝「お手伝いする」



農業法人を共同設立

鹿児島銀行は、平成28年9月30日、九州共同株式会社ほか数社と共同で、農作物の生産・加工・販売等を行う農業法人「株式会社春一番」を設立しました。現在、鹿児島銀行から3名出向しており、タマネギの栽培を始めています。新しい農業ビジネスモデルの確立により農業の発展と雇用創出を目指します。



次世代ベンチャー発掘支援

熊本県、熊本大学、熊本県工業連合会、株式会社リバネスとの5者間で、「熊本県における次世代ベンチャーの発掘と育成に向けた連携協定」を平成28年2月に締結しました。アグリ・バイオなどの自然共生型産業などの創出に向けて、次世代技術と情熱をもって熊本から世界を変えようとする起業家を育成する創業支援プログラム「KUMAMOTO TECH PLANTER」を運営しています。



平成28年7月に肥後銀行本店で開催された「次世代ベンチャーコンテスト 熊本テックプランングランプリ」

CSR～「わたしのまちの〇と×・熊本」環境フォトコンテストFINAL

平成19年から10年間にわたり、「わたしのまちの〇と×・熊本」環境フォトコンテストの事務局を務めてまいりました。このコンテストは、環境問題に対する新たな視点を発掘し、それらの問題を解決するために一人ひとりが考え、行動し、社会的行動につなげることを目的にスタートしました。10年間の累計応募数は18,625点、累計応募学校数は1,080校にものぼりました。



ふるさとを元気に するための取り組み

WEBサイト「鹿児島銀行が“つなぐ”ふるさと応援」開設

起業・創業、その他様々な形で地域を盛り上げる人々を応援することを目的とした、WEBサイト「鹿児島銀行が“つなぐ”ふるさと応援」(<https://faavo.jp/cpn/kagoshimabank>)を開設しました。本サイトに、自治体が認定した地方創生に繋がるプロジェクトを掲載することで、事業者はプロジェクトを応援したい支援者より少額ずつ資金を集めることが可能となります。自治体と連携して地方創生の取り組みを積極的にサポートしていきます。



外貨自動両替機の設置

鹿児島県初となる「外貨自動両替機」を鹿児島空港国際線ターミナルへ設置しました。外貨10通貨から円貨へと、円貨から米ドルへの両替にご利用いただけます。インバウンドとアウトバウンド双方に対応したサービスを提供することで、観光振興および地域経済の活性化に取り組んでおります。





営業の概況

九州フィナンシャルグループ (KFG) 連結 (単位: 百万円)

科目	平成28年9月期
経常収益	87,030
経常利益	11,053
親会社株主に帰属する中間純利益	7,449
自己資本比率	12.81%

肥後銀行・鹿児島銀行 (2行単体合算) (単位: 百万円)

科目	2行単体合算		
	平成28年9月期	前年同期比	平成27年9月期
経常収益	76,118	1,620	74,497
業務粗利益	56,948	626	56,322
うち資金利益	46,155	△1,270	47,425
経費(除く臨時処理分)	37,808	△39	37,848
コア業務純益	14,689	△2,035	16,724
業務純益	15,580	△2,330	17,911
経常利益	15,927	△7,185	23,113
中間純利益	10,810	△4,872	15,682

(単位: 億円)

総預金残高	81,263	3,759	77,503
貸出金残高	58,719	3,985	54,734
預り資産残高	10,434	320	10,114

(注) 総預金は、預金と譲渡性預金の合算であります。

POINT

平成28年9月期の業績につきましては、経常収益は貸出金利息や有価証券利息配当金などにより870億円となりました。

一方、経常費用は営業経費などにより759億円となりました。

この結果、経常利益は110億円、親会社株主に帰属する中間純利益は74億円となりました。

POINT

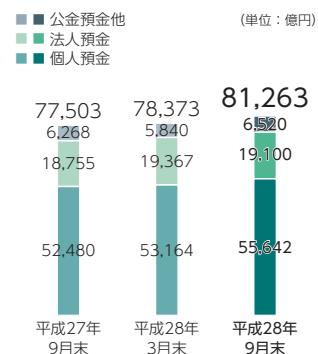
業務粗利益につきましては、資金利益及び役員取引等利益は減少したものの、国債等債券損益の増加によりその他業務利益が増加したことなどから、前年同期比6億円増加しました。

業務純益につきましては、経費は前年同期比ほぼ横ばいでしたが、一般貸倒引当金繰入額が増加したことなどから、前年同期比23億円減少しました。

経常利益につきましては、熊本地震の影響により不良債権処理額が増加したことや株式等関係損益が減少したことなどにより臨時損益が減少したことなどから、前年同期比71億円減少しました。

中間純利益につきましては、経常利益減少の影響が大きく、前年同期比48億円減少しております。

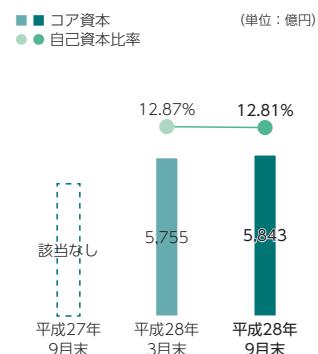
総預金の状況 (2行単体合算)



POINT

両行とも、順調に増加しました。2行合算で、28年3月末比2,890億円増加(増加率3.6%)し、期末残高は8兆1,263億円となりました。特に肥後銀行で、震災に伴う保険金等の流入による増加が顕著になっています。

自己資本比率の状況 (KFG連結)

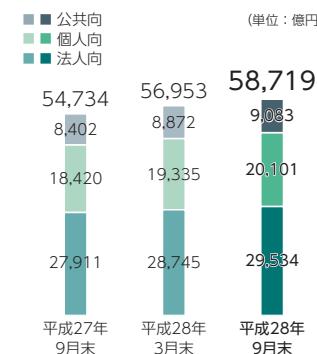


POINT

バーゼルⅢに基づく国内基準により自己資本比率を算出した結果、肥後銀行12.03%、鹿児島銀行11.55%、KFG連結ベース12.81%となりました。

(KFG連結ベースの自己資本比率は、経営統合時の会計処理において、鹿児島銀行の有価証券評価差額金等が「負ののれん発生益」を通じて自己資本に取り込まれたため両行の自己資本比率より上昇しております。)

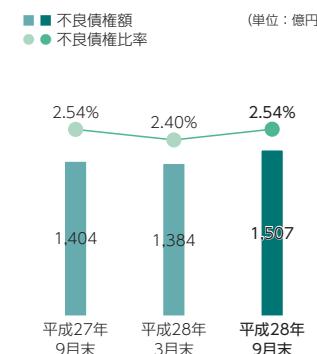
貸出金の状況 (2行単体合算)



POINT

肥後銀行では、震災の復旧・復興資金の需要もあり、法人向けと公共向け貸出を中心に、鹿児島銀行では個人向け貸出を中心にともに増加しております。2行合算で、28年3月末比1,765億円増加(増加率3.0%)し、期末残高は5兆8,719億円となりました。

金融再生法開示債権の状況 (2行単体合算)



POINT

肥後銀行で684億円、鹿児島銀行で822億円、2行合算で28年3月末比122億円増加し、1,507億円となりました。金融再生法開示債権の総与信に占める割合、いわゆる不良債権比率は、肥後銀行で2.32%、鹿児島銀行で2.77%、2行合算で28年3月末比0.14%上昇し、2.54%となりました。

※肥後銀行は平成28年3月末より部分直接償却は実施しておりません。また、鹿児島銀行は部分直接償却は実施しておりません。

格付 (平成28年11月末現在)

九州フィナンシャルグループ	肥後銀行	鹿児島銀行
株格付投資情報センター(R&I) 【長期格付】 A+	スタンダード&プアーズ・レーティング・ジャパン(株) 【長期格付】 A-	株格付投資情報センター(R&I) 【長期格付】 A+
株格付投資情報センター(R&I) 【長期格付】 A+	スタンダード&プアーズ・レーティング・ジャパン(株) 【長期格付】 A-	株格付投資情報センター(R&I) 【長期格付】 A+



経常利益
7,332百万円

中間純利益
5,178百万円

損益の状況

(単位：百万円)

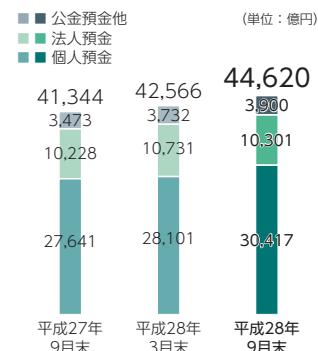
科目	平成28年9月期	前年同期比	平成27年9月期
経常収益	39,582	△1,556	41,139
業務粗利益	29,780	755	29,025
経費	20,181	198	19,983
コア業務純益	6,200	△1,251	7,451
業務純益	9,518	477	9,041
経常利益	7,332	△6,498	13,830
中間純利益	5,178	△4,037	9,215

POINT

肥後銀行では、経常収益は2期ぶりの減収、経常利益・中間純利益も2期ぶりの減益となりました。業務粗利益は、マイナス金利の影響による資金利益及び役務取引等利益などの減少はありましたが、その他業務利益が増加したことにより、前年同期比7億円増加しました。業務純益は、経費や一般貸倒引当金繰入額は増加しましたが、業務粗利益が増加したことにより、前年同期比4億円増加しました。経常利益は、熊本地震の影響による不良債権処理額の増加や株式等関係損益の減少などにより、前年同期比64億円減少し73億円、中間純利益は、前年同期比40億円減少し51億円となりました。

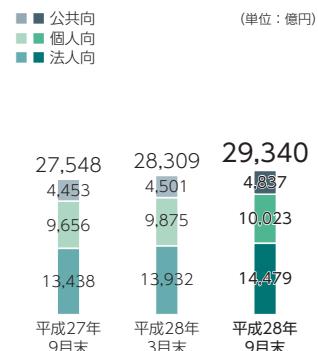
総預金の状況

(単位：億円)



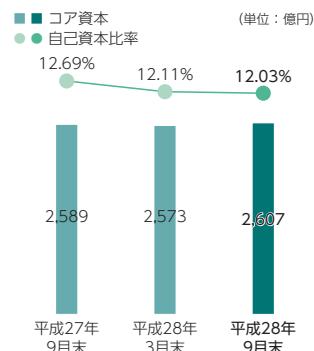
貸出金の状況

(単位：億円)



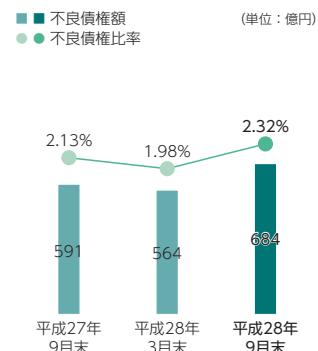
自己資本比率の状況

(単位：%)



金融再生法開示債権の状況

(単位：億円)



※平成28年3月末より部分直接償却は実施しておりません。



経常利益
8,595百万円

中間純利益
5,631百万円

損益の状況

(単位：百万円)

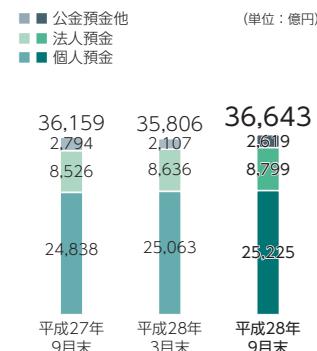
科目	平成28年9月期	前年同期比	平成27年9月期
経常収益	36,535	3,176	33,358
業務粗利益	27,168	△128	27,296
経費	17,626	△237	17,864
コア業務純益	8,489	△783	9,272
業務純益	6,061	△2,807	8,869
経常利益	8,595	△686	9,282
中間純利益	5,631	△835	6,466

POINT

鹿児島銀行では、経常収益は2期連続の増収、経常利益・中間純利益は2期ぶりの減益となりました。業務粗利益は、マイナス金利の影響による資金利益及び役務取引等利益の減少などにより、前年同期比1億円減少しました。業務純益は、経費は減少しましたが、一般貸倒引当金繰入額が増加したことから、前年同期比28億円減少しました。経常利益は、株式等関係損益の増加などがあったものの、業務純益の減少の要因が大きく、前年同期比6億円減少し85億円、中間純利益は、前年同期比8億円減少し56億円となりました。

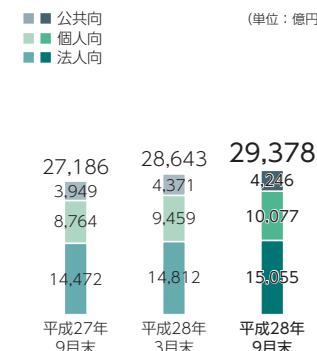
総預金の状況

(単位：億円)



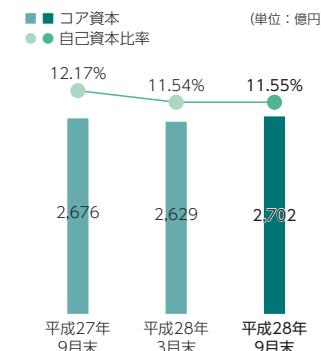
貸出金の状況

(単位：億円)



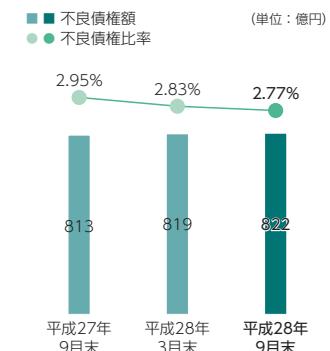
自己資本比率の状況

(単位：%)



金融再生法開示債権の状況

(単位：億円)



※部分直接償却は実施しておりません。

株主の皆様へ

株式数および株主数 (平成28年9月30日現在)

発行済株式総数 (普通株式)	463,375,978株
株主数	16,775名

平成28年9月期の 配当について

1株あたり配当金

普通株式
第2四半期末
6円00銭

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎事業年度が終了した日の翌日から3か月以内に開催
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告 (https://www.kyushu-fg.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、熊本日日新聞および南日本新聞ならびに日本経済新聞に掲載いたします。

	証券会社等に口座を お持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	お取引の証券会社等 になります。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)	みずほ証券株式会社 本店および全国各支店 みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんので、ご了承ください。	
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行株式会社および株式会社みずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券株式会社では取次のみとなります)	

※ 特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

上場株式配当等の 支払に関する 通知書について

支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、確定申告の添付書類としてご使用ください。
なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、確定申告の添付書類としてご使用いただける支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

ホームページのご案内

最新IR情報やニュースリリース等は
ホームページからご覧いただけます。

TOP



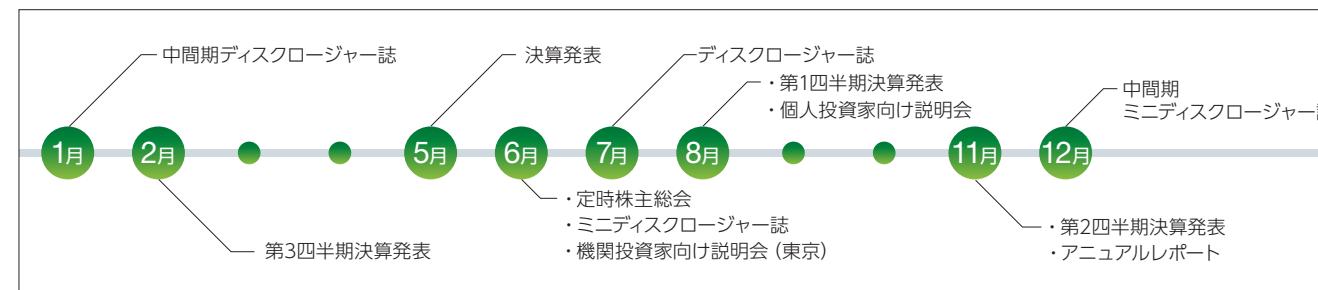
IR



九州フィナンシャルグループ 🔍

<https://www.kyushu-fg.co.jp/>

IRカレンダー



IR NEWS

JPX日経インデックス400採用!



JPX-NIKKEI 400 JPX日経インデックス400とは

JPX日経インデックス400とは、東証上場銘柄 (1部・2部・ジャスダック・マザーズ) の中から、グローバルな投資基準に求められる諸要件を満たした企業で構成される株価指数です。JPX日経インデックス400は、定期的に構成銘柄の見直しが行われますが、平成28年8月末に、九州フィナンシャルグループはその構成銘柄に採用されました。

同指数は、「ROE」「営業利益」「時価総額」および「独立社外取締役の選任」等の基準を用いて銘柄を選定しており、同指数の構成銘柄は「投資者にとって投資魅力の高い会社」といえます。また、採用銘柄は、同指数をベンチマークとするインデックスファンド等への組み入れ需要も期待できるとされています。

会社概要 (平成28年9月末現在)



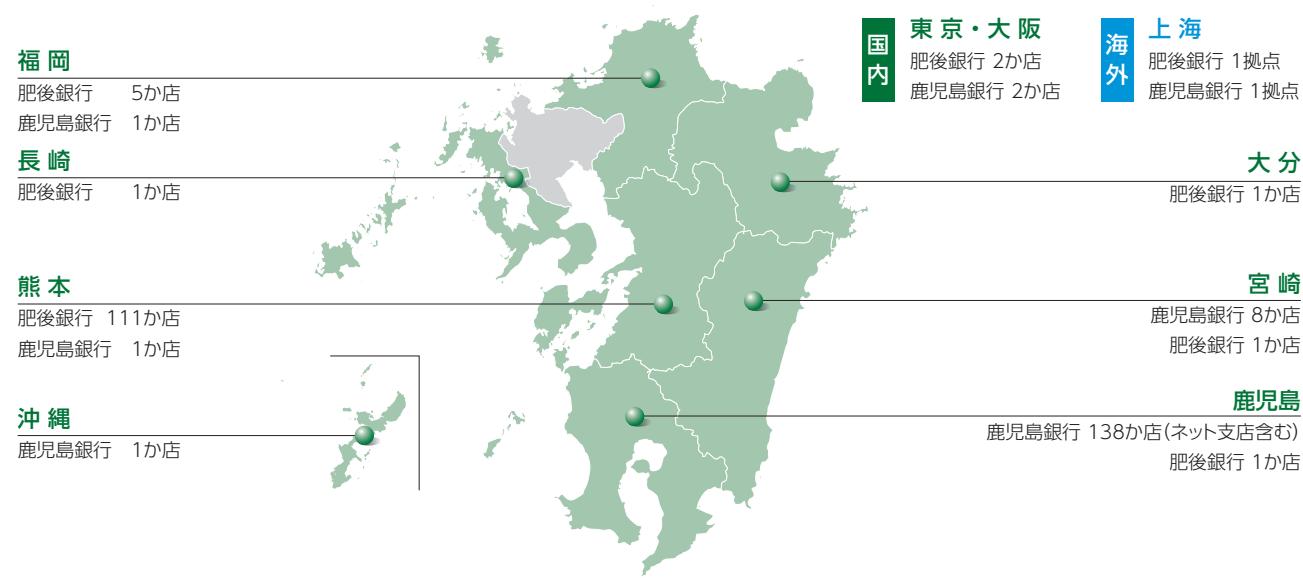
株式会社 九州フィナンシャルグループ

本店所在地 (登記上の住所)	鹿児島市金生町6番6号
本社所在地 (本社機能)	熊本市中央区練兵町1番地
代表者	代表取締役会長 甲斐 隆博 (肥後銀行 取締役頭取) 代表取締役社長 上村 基宏 (鹿児島銀行 取締役頭取)
資本金	360億円
設立日	平成27年10月1日
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 福岡証券取引所本則市場
証券コード	7180

役員

代表取締役会長	甲斐 隆博	監査役	下山 史一郎
代表取締役社長	上村 基宏	監査役	本村 悟
取締役	郡山 明久	監査役 (社外)	関口 憲一
取締役	最上 剛	監査役 (社外)	田中 克郎
取締役	松永 裕之	監査役 (社外)	田島 優子
取締役	笠原 慶久	執行役員	西本 純一
取締役	林田 達	執行役員	江藤 英一
取締役	鶴田 司	執行役員	赤塚 典久
取締役 (社外)	渡辺 捷昭	執行役員	金城 明
取締役 (社外)	末吉 竹二郎	執行役員	宮脇 道秋

九州フィナンシャルグループのネットワーク (平成28年9月末現在)



株式会社 肥後銀行

創立	大正14年7月25日
資本金	181億円
本店所在地	熊本市中央区練兵町1番地
店舗数	123か店 本支店 118・出張所 4・海外駐在員事務所 1
従業員	2,321人



株式会社 鹿児島銀行

創立	明治12年10月6日
資本金	181億円
本店所在地	鹿児島市金生町6番6号
店舗数	152か店 本支店 113・出張所 11・代理店 27・海外駐在員事務所 1
従業員	2,279人

熊本地震への取り組み

当社グループは、被災された方々のあらゆるニーズにお応えするための預金・融資・義援金に係るサービス・商品をご提供しているほか、地元熊本の復旧・復興に向け様々な取り組みを行っています。

熊本文化財復興支援金へ寄付

当社グループは、熊本の「創造的復興」に向けて、地域と一丸となって、持続可能な取り組みを着実に進めていくことが重要であると考え、平成28年熊本地震で甚大な被害を受けた熊本城や阿蘇神社などの貴重な文化財の一日も早い復元・修復のため、熊本文化財復興支援金に総額19億5千万円(3年間)の寄付を行いました。



震災復興支援WEBサイト「かせするもん。」を開設

九州フィナンシャルグループの肥後銀行では、震災復興支援のためのWEBサイト「かせするもん。」(<http://kasesuru.jp/>)を開設しました。当社グループは、これからもふるさと熊本の創生のために地域の皆様とともに一歩一歩進んでまいります。



かせするもん。

熊本の復旧・復興のために

平成28年4月、2度の大きな地震が、熊本を、そして阿蘇を襲いました。
これまで訪れる人々の心を開放し癒してくれた、千年の歴史をもつ阿蘇の草原は、ここからまた新しい歩みを始めます。
世界に自慢したい阿蘇へ。感動が生まれる場所へ。
みなさんの“かせする”想いが、阿蘇の一步につながります。
※かせするとは、熊本弁でお手伝いするという意味です。



買って かせするもん。

阿蘇が育んだホンモノの特産品。おいしい、あたらしい、いいものをそろえました。



食べて かせするもん。

阿蘇には、元気を満タンにしてくれるおいしいグルメがたくさん。



料介供て かせするもん。

地域によっては、まだまだ皆様の力を必要としている人がたくさんいます。



旅して かせするもん。

鮮やかな季節の彩り、雄大な大地に吹き抜ける風…阿蘇は魅力が満載です。



泊まって かせするもん。

日常を離れて、まどろみのひと時を。阿蘇に泊まってかせしよう。



気持ちで かせするもん。

寄付やふるさと納税という形で、あなたも復興に参加しませんか。



見守って かせするもん。

いざという時の頼りに、離れて暮らすご家族の見守りませします。



今月の かせするもん。

毎月テーマを決めて阿蘇をご紹介します。「今月のかせするもん。」は、毎月15日に情報更新します。

WEBサイトのご紹介

復興支援サイト「かせするもん。」のご紹介。

「かせするもん。」とは九州フィナンシャルグループの子会社である肥後銀行が、被災した地域の経済活動サポート、産業支援ならびに地域住民の活力向上につながる復興状況の継続的な伝達を目的に開設した情報サイトです。 県内自治体、各種団体や民間企業等と連携し、熊本県内の観光情報や特産品のご案内、復興状況等、復興支援関連情報を掲載しています。

<http://kasesuru.jp/>

かせするもん 🔍